

# 次期市民検討会委員へ伝えたいこと



前検討委員の想いや夢などを引き継いで、次期検討会での議論を進めていきましょう！

令和3年12月28日時点

## まちづくりWG

今後10年、20年と「次世代に引き継ぐ」と言う事を念頭に思うと、現状の姿から何らかの改善施策が必要となってくるのでは。市民生活を安全・安心とする為の環境作り、各施設の利便性の向上を実感できる街づくりを考えたい。自然環境を確保しつつ、生活に必要な施設の老朽化対策にも目を向けて行かなければと思う。複合施設を建設するにしても、目的、機能、周辺環境の整備など、検討する事項は多岐にわたる。

事務局とのコミュニケーションに苦しんだ時期もあり、また思うことの議論まで進めなかった長い期間を経て分かったことは、H29基本計画案に反対がでた「公園を守りたい」ということと計画案以前からまちづくり会議で求められていた「公共施設の老朽化」への対応で、同じものでした。このことを大切に、パブコメの内容にも立ち帰りつつ進めていただきたいと思います。今回手に入れたものは「市との協働」だったように思います。これを引き継ぎ、育てていけるようにと願います。委員でない市民からの意見を検討会で共有する時間を作って下さい。

回り道をすることなく、定めた目標に向けて最速最短で進めてください。

市民検討会では「次世代に引き継ぐまちづくり」の視点で、それぞれWGや全体での協議を経て検討パターンの絞り込みを行ってきましたが、まだまだ細かい部分はたくさんの意見を出し合いながら検討していかなければならないし、そこだけではなく周辺の全体的な整備、周辺住民への十分な説明も必要であると感じています。次期検討会では1つ1つの事がきちんと説明できる内容づくりを目指してほしいと思います。また公園を中心に地域の色々な団体（地区社協、南口商店会、学生、子育て支援団体等）とコラボしたイベントが開催できたり、人と人との交流の場があり、地域コミュニティの活性化が図れるような公園であってほしいです。

## ビジョン

淵野辺南口の魅力・ブランドは、駅の近くにある広い公園及び公共施設がそろっていること。これらを毀損することなく利便性を高め、さらに、利用する人たちの想いを実現その方策・戦略

### 公園について

現在の公園を狭めることなく、交通公園のリニューアル・子どもたちがボール遊びのできる広場新設・年寄りが集まれる木陰、ベンチのある広場等の設置等を検討し、魅力を高めることを考える

### 公園・複合施設周辺の道路整備・渋滞解消

道路拡幅（現在の公園の外周を削る）・駐車場の入口付近は駐車待ちのため1車線増やす・駅から公園に向かう道の再整備等を考える

### 複合施設について

設置場所 現在の公園駐車場、テニスコート、野球場で考える  
図書館敷地の活用 駐車場、複合施設、外周道路によって減少した公園の代替地  
建物の高さ まわりの環境を考えるならあまり高くしない方がいい

## 公共施設WG

次世代につなぐ街作りですが、日本の未来は「超高齢社会」に入って10年以上経っています。近い未来に相模原人口の変動を考えつつ、話を進めていただきたい。外国人労働者も増えるだろうし、外国人を住民として迎えて暮す未来をも考えてもらいたい。少子高齢化社会で、子どもと老人が利用しやすい場所・外国人が自然に受け入れられて、共生できる場所を考えていただきたい。

- ・国際交流ラウンジが図書館と同じフロアにあって、図書館利用者（子ども）に本の読み聞かせ会など、できると良いなー。
- ・老一老介護、一人暮らしの老人も公園を訪れる機会を作って、施設を利用し、外国人とお茶をする会が生まれたら良いなー。
- ・ふちのべ大学「青山・桜美林・麻布」の学生のサークルに一般市民が参加して、一体になれると良いなー。そんな活動をしてくれば良いな！

みなさんに愛される使いやすい施設ができることを願っています。コロナ禍でもあり、話し合いの時間はかかりましたが、話し合うことでいろいろな課題も見えてきました。機会は、まだ、引き続きしますので、大切なポイントは丁寧に話し合いながら、みなさんでよりよいものを考えていっていただければと思います。よろしくお願いたします。

- ・折衷案（公園と図書館を含めた複合施設） 場所が決まれば色々なアイデアが出せる。仮施設整備の5億は必要ない。
- ・図書館用地を含めれば今回対象外になっている自転車駐車場の一部を取り込めれば土地利用収益が見込める。
- ・周辺対策や交通体系の議論がされてない。
- ・駅前再開発、跡地の利用によって収益に係わってくる。
- ・南北の開発を含めての街づくりが必要。

子どもや子育てをしている人、学生や働いている人、年配の方など色々な世代の方が、いずれ出来る施設や空間に自分自身の存在をイメージできることが大切と考えてきました。全ての人が心地良く行き来できるまちづくりを目指してほしいと思います。

- ・今後、多くの案が出され、選択していくことになると思うが、そうされた説明を理解しやすく、説得力を持てる方法でしていくことが大切と考えます。
- ・市民が自分ごととして考えられることが大切
- ・子育て中、高齢者、障がいをお持ちの方が利用しやすい、そういった方たちの存在を意識できる（思いやれる）まちづくりを目指してほしい

複合施設は公園内に設置すると公園が狭くなるので、図書館敷地を公園・駐車場等に使用できたら良いと思います。

公園の機能を維持しながら公共施設の具体的な配置についてパターン別にメリット・デメリットを上げ絞り込みをしてほしい

- ・鹿沼公園と図書館を一体化し公園のリニューアルを検討していただき、緑の景観を保護しながら、図書館の配置を決定してほしい。
- ・民間企業の活用については、疑問も残る

- ・次世代にどういった淵野辺駅南口を届けたいのか？をいつも念頭に考えてほしい。
- ・この地域（施設）は、市全体の施設もあり、近隣の人たちが集まるわけではないこと。又、健康者、障害のある人、赤ちゃんから高齢者まで色々な人たちが来るのだということ、だから、様々な視点で話し合ってください。
- ・私たちは、折角の有識者の方の具体的な例や案を伺うことができなかったと感じている。専門家の力をもっと借りて納得のいく淵野辺駅南口を作っていたらいい。※視覚障がいの方の意見を添付します。よろしくお願いたします。

※添付資料は別紙

元々この市民検討会は、交通公園の一部に複合施設を建設するとして元の計画案に反対が出た事から始まっているので、出来る限り鹿沼公園の環境を守りたいと考えている地域住民が少なくない事に留意する必要があります。一方で、公共施設については、単に老朽化対策だけでなく、図書館等公共施設のソフト面(コンテンツ面)まで今年度細かく議論が出来ていませんが、カフェ、ワーキングスペース、wifi等々現在の地域住民・市民のニーズに合わせる使い勝手の改善が必要だと皆さんと考えていました。公民館の活動スペースが足りない事もそうです。(図書館については、そもそも自習等で利用に来た学生さん等が、持参したお弁当を食べる場所がない事がずっと疑問でした。)

今、地域・市民の皆さんがどのようなニーズをもっておられるかは、近隣の飲食店等でどのような使い方・過ごし方をされているかをそれとなく観察していると一つのヒントになると思います。特に朝、公共施設が開館する前の時間帯を見て頂きたいと思っています。また、検討会の中でも折に触れて多少話していますが、類似するような公共施設の再整備計画が様々な自治体から出ていますので、そういうものを参考にして、相模原独自の再整備が出来たらという事を思いながら検討していました。事務局の方から、折衷案(鹿沼公園、図書館敷地両方を活用する案)の方のデメリットとして、工事の際の業務の継続性の問題があるという話が再三出ていますが、淵野辺地区近辺で言えば、青葉小学校が光が丘小学校と統合になって、青葉小学校の校舎が一時的にかかりませんが、スペースとして残るので、ここを利用する手もあるのではと考えます。青葉小は、元々古文書の保管施設だったという話もあります。同様に大野北小もこの程度かわかりませんが、多少使えるスペースがあると聞いています。参考になればと思います。

また、個人的な思いとして、図書館から鹿沼公園の景観を楽しむ事が出来るような設計にできたらいいだろうなと考えていました。また、元の図書館のほんの一部だけでも構わないので、再整備後も遺せるというなど思っていました。全体として、地域住民の憩いの場、集いの場、サードプレイスとして考えられる場所となればいいなと思っています。こうした思いを少しでも汲み取って次期検討委員の皆さんが検討して下さい。非常にありがたいと思っています。

## 公園WG

- ・具体的なイメージが分かりにくく、検討会で話しても振り出しに戻ってしまう
- ・目の前の事ばかりではなく、将来的にどのような雰囲気になりたいのか？(例 若者が集う公園)
- ・鹿沼公園の今の集まりやすい感じを残しつつD52蒸気機関車をより活かしてほしい。

※2足歩行の人間やそれだけではないので色々な視点から話し合ってください。

公園中心パターン  
駅からの道路整備 車道・歩道・身障者椅子・ベビー車等安全道  
公園使用規定 自転車乗入れ禁止、ペット等の一部禁止区域、夜間安全防犯、防災  
スーパー(ヤオコー)交渉の上、間接通路つくる  
公園外周ウォーキングコース(通路)

限られた時間でしたが、聞きっぱなし、言いつぱなしではなく、相手の真意を引き出すような問いかけをすること、更にはそこからより良いアイデアが浮かぶような、双方向的な議論が出来るように努めてきました。次期もそのような議論がなされ、より良い案となるよう、心から願っています。

長期に渡る検討お疲れ様でした。今後の検討委員の皆様には、すでに大きな課題となっている人口減少、超高齢化、防災の観点もふまえて、淵野辺駅南口周辺の都市公園や公共施設が持続可能な市民の財産として、有効活用されることを希望いたします。

地域の特別支援学校として、誰にでもやさしい街づくりが進められるよう願っています。たくさんの方の想いや願いがある中で優先順位を考えながら、バランスと調和のとれた街づくりができるといいですね。

南口活性のための再【開発】←つかわない方がいいサブタイトルで説明いれるか  
やわらかくネーミング  
(次世代に引き継ぐ街づくり 南口・まちづくり・次世代につなげる(ひきつぐ))  
施設と大学とのタイアップ(ポプリホール 鶴川駅前図書館のような)  
↑大学の財政も苦しい・・・